



# 青き楓

島高だより  
令和2年2月号  
（通巻第167号）  
長崎県立島原高等学校  
編集：研修広報部

校長室から

## 節目の時

校長 渡邊 孝経

卒業は「節目の時」である。節目とは竹の節目のことで、この節目のおかげで、強い風が吹いても竹は簡単には折れない。つまり「節目の時」というのは「大事な時」で、気持ちをあらたにする時でもある。

島高のリーダーとして様々な場面で活躍してくれた第72回生が、3月1日に卒業する。卒業式を新型コロナウイルス感染症への対応のため、さまざまな配慮のもと、従来と違う形で実施することとした。どうか理解して欲しい。

君達には、入学式、歓迎遠足、生徒総会、県高校総体、夏の学習合宿、体育祭などあらゆる時・場面で、喜びと感動を与えてもらった。ありがとうございました。

そこで、この節目に、あらためて、ここで卒業へのはなむけの言葉を送り、在校生にも、島原高校の一員としての思いを深めてもらいたい。

まず初めに、本校の教育スローガン「輝け★21世紀の旗手・青き楓たち」

ここでいう『旗手』について、創立100周年時の校長、寺田隆士先生は次のように説明されている。『旗手』とは人の上に立つ人ではなく、先頭を歩く人のこと。進むべき方向を自ら定めつつ先頭を歩く人のことである。重い責任が伴い、危険も伴う。それでも敢えて先頭を歩く気概が必要である。しかし、人を愛する暖かい心がなければ人は続いてくれない。「何よりも大切なことは、自己一身の利益より全体の幸福を優先する自己犠牲の精神がなければならない。」と。

まさに現代求められているリーダーのことであると思う。

120周年に向けてのキャッチフレーズも「前へ！新時代の旗手～誇り高き伝統、さらなる飛躍～」とした。この「旗手」になることこそが、島原高校を卒業する者の「使命」なのである。これを生き方の核として、何事にも取り組んで欲しいと思う。

次に、12月号にも書いた「深淵大澤」

中国の書家の楊草仙という方が昭和3年頃、島原中学に来られて書かれた書であり、90歳頃に書かれたそうである。島原中学は龍蛇にも比すべき偉大な人物が輩出する深淵大澤の環境であるという意味を含ませているそうである。

卒業後、「志」を成し遂げるために、島高では楽しさだけでなく、苦労や努力も経験した。困難に直面した時に、どうすればよいのかも皆さんは学んだ。それこそが青春時代の宝なのである。それを持って、この深淵大澤である島原高校から巣立ってほしい。この島原高校での生活全てが、その「志」を叶えるための基礎だったのだ、ということである。

最後に、校長室に掲げられてある北村西望氏の「故郷は大地なる母 母校は青春の古里」

故郷は無償の愛で見守ってくれている母のようであり、母校はまさに青春を謳歌し成長した場所であるということであろう。皆さんのほとんどが島原を離れるが、古里を思う心、母校を思う心を決して失わないでほしい。地球上のどこにしようとも、卒業して何年経とうとも、時には古里に思いを馳せ、母校での青春の日々を思い出して欲しい。

1・2年生、いよいよ君達が島高を引っ張っていく番だ。創立120周年に向けて「前へ！新時代の旗手～誇り高き伝統、さらなる飛躍～」のキャッチフレーズのもと、大きく成長して欲しい。

生徒・保護者・同窓会・教職員・地域等が連携し新時代の島高をつくりあげ、発展させなければならないと思っている。

## 令和元年度「学校評価」について（報告）

教頭 酒井 俊治

今年度の「学校評価アンケート」の実施について、ご協力ありがとうございました。今後も、すべての教育活動を通して「文武両道」の校是のもと「島高生としての誇り」を育成してまいります。より詳しいデータは本校HPに今後掲載いたします。

1. 「よくあてはまる(4)」+「あてはまる(3)」の計が80%以上のものがほとんどであることから、概ね高い評価を受けたと思います。なお、前年度より数値が3ポイント以上上昇した項目が8項目、3ポイント以上下降した項目が3項目ありました。
2. 「8 心身の健康管理」「9 教育相談」については、日頃の観察や「悩み調査」「学校生活調査」などの各種アンケート結果も踏まえ、対応しているところです。今後も、担任・学年・分掌によるフォロー体制を充実させるとともに、SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）とも連携を図り、きめ細やかな対応に努めてまいります。
3. 「11 学校の施設・設備等」については、校舎の改修工事等を計画的に進め、快適な環境で学校生活を送れるよう努めてまいります。
4. 「17 主権者教育」については、生徒・保護者ともに最も低い評価でした。18歳成人を控え、今以上に組織的・体系的に取り組んでまいります。

No	質問事項	よくあてはまる(4)+あてはまる(3)	
		生徒	保護者
1	教育方針・育てたい生徒像	◎94% (92%)	◎96% (94%)
2	学習と部活動の両立	▽79% (81%)	88% (89%)
3	わかりやすい授業	89% (83%)	85% (84%)
4	校則・社会のルール	◎92% (90%)	◎96% (93%)
5	進路情報提供	◎92% (91%)	85% (87%)
6	進路実現支援	◎91% (90%)	85% (89%)
7	清掃活動	◎90% (87%)	◎92% (91%)
8	心身の健康管理	86% (79%)	88% (87%)
9	教育相談	83% (80%)	82% (85%)
10	学校行事の充実	◎90% (88%)	◎94% (92%)
11	施設・設備	▽73% (79%)	87% (87%)
12	防災・危険防止	87% (89%)	◎94% (92%)
13	情報提供	◎94% (95%)	◎94% (93%)
14	P.T.A・同窓会との連携	◎92% (93%)	◎95% (92%)
15	人権教育	◎95% (95%)	◎91% (85%)
16	環境教育	82% (84%)	◎93% (91%)
17	主権者教育	▼69% (69%)	81% (82%)
18	島高生としての誇り	82% (82%)	◎91% (88%)

### 3月の主な行事予定

- 1日(日) 第72回卒業証書授与式
- 2日(月) 振替休日(3/1卒業式分)
- 3日(火) 早朝補習再開(1・2年)
- 7日(土) スタディーサポート(1年) 土曜講座(2年)
- 8日(日) 公立大学中期試験
- 10日(火) 高校入試・生徒自宅学習(~12日)
- 12日(木) 国公立大学後期試験
- 14日(土) 土曜講座(1・2年)
- 16日(月) 体力テスト・個人写真撮影(2年)
- 17日(火) 体力テスト・個人写真撮影(1年) 教科書販売(新2・3年)
- 18日(水) 高校入試合格者発表(9:30) 卒業生合格談・全国選抜大会壮行会
- 19日(木) 合格者テスト・保護者同伴説明会
- 22日(日) 合唱部定期演奏会(島原文化会館)
- 23日(月) 理数科課題研究発表会(2年)
- 24日(火) 終業式・離任式・大掃除
- 25日(水) 登校自学(1・2年) (~26日)
- 26日(木) 全国選抜大会(剣道) (~28日)
- 27日(金) 全国選抜大会(レスリング) (~29日)
- 4月6日(月) 登校自学・部活動紹介・入学予定者オリエンテーション

## 第22回島原半島美術展

美術部顧問  
小野 大輔

2月6日（木）～11日（火）にふれあいホールサンブラザ万町を会場に、今年で22回目を迎える島原半島美術展を開催しました。島原半島の7校による彩豊かな作品を展示し、昨年よりも多くの方に来場していただくことができました。中でも、毎年この展覧会を楽しみにしていますという常連の方が来場されたことを嬉しく思います。



この様子は、各テレビ局や新聞などにも取り上げられ、メディアを通じて紹介されました。絵画やデザイン、彫刻などの立体作品に加え、参加校共同制作の、和紙をマーブリングで彩ったランタン展示や、来場者への手作り菓、特別支援学校の生徒が作成した箸置きプレゼントを行い大変賑わう展覧会を成功させることができました。

展覧会の初日には、作品鑑賞会などの生徒交流会を行い、鑑賞力と表現力を培う経験ができました。交流会後は、会場の外でチラシ配りをして直接地域の方にPRする時間を設けました。また、6日間の開催期間の受付は各校の生徒が分担して行い、観覧者の声を直接聞く経験もすることができました。

## 卒業研究発表会

3学年主任 森崎 悟

この1か月間、進路が決定した3年生のうち29名の生徒が進路に関するテーマで、卒業研究を行いました。その成果を、2月21日（金）の「卒業研究発表会」で発表しました。スライドを用いて自分の研究を、わかりやすく堂々と発表する姿に、それぞれの生徒たちの成長を感じました。また、この期間で社会人としての素養を高めるために「スーツ着こなし講座」、「働くときの基礎知識講座」、「租税教室」など外部講師を招いて社会人になるための準備も行いました。



### 【研究テーマ※抜粋】

- ・映像が人間に与える影響 ・疲れを残さない運動後のケア
- ・税務について ・小学校問題 小一プロブレムの現状と対策
- ・海上自衛隊の職種と中東派遣 ・臨床検査技師について
- ・外国人とのコミュニケーションの取り方 ・子供と絵本
- ・剣道において必要な筋力トレーニングや栄養などの食事法
- ・地域のごみ問題 ・災害医療について など

## 各種表彰

卒業式を翌日に控えた2月29日（土）に各種表彰が行われました。

長崎県教育委員会優良卒業児童生徒表彰 3年1組 福田 幸人

長崎県スポーツ表彰

団体 剣道部女子  
個人 3年5組 吉武 まひろ（レスリング部）、3年6組 池田 成諒（陸上競技部）



長崎県高等学校体育連盟表彰

◇卒業生顕彰 3年1組 永吉 佑成（テニス部）  
 ◇一般表彰 団体 剣道部女子、レスリング部  
 ◇一般表彰 個人  
 3年5組 吉武まひろ（レスリング部）、3年5組 齋藤 瑞貴（剣道部男子）  
 2年3組 岩本 瑚々（剣道部女子）、2年4組 峯松 加奈（剣道部女子）

長崎県高等学校文化連盟表彰 ◇卒業生顕彰 3年6組 西村 和海（放送部）

3年間無欠席生徒表彰 90名

## 国公立大学前期試験

進路指導部主任  
本多 敏高

2月25日（火）・26日（水）に国公立大学前期試験が実施されました。本校からは約130名の生徒が臨みました。職員室では至る所で熱心に質問する3年生の姿が見られ、自学スペースや進路室で勉強する姿からも、絶対合格するぞという熱い志が感じられました。合格発表は3月上旬に行われます。これまでの努力が実り、見事に合格を勝ちとることを島高にかかわる全ての人々が願っています。また、2月27日からは中後期試験に向けての講座を実施します。自信をもって後期試験に挑めるように、卒業式後も継続して指導していきます。後期試験は実質倍率が下がり、合格するチャンスが大きくなります。最後まであきらめずに受験することで合格につながりましょう。

1・2年生もいずれ受験生となります。先輩の姿から多くのことを学び取ってください。

## 74回生「総合探究の時間」「地域学」

1学年主任 松永 俊

1年生普通科では、10月から2月まで故郷島原の地域的課題について学ぶ『地域学』に取り組んできました。大きな企画としては、まず12月18日に「出前講座」として島原市役所と島原鉄道の職員の方を講師として招き、「観光」「交通」「医療」「防災」などの8分野についての講義を開講しました。生徒たちは普段住み慣れた島原市の特徴や課題について、専門的な切り口から学ぶことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

次に、実際に校外に赴いてフィールドワーク活動に取り組みました。長年島原市の経済の中心としてその賑わいを支えてきた島原市中心部のアーケード「一番街商店街」「サンシャイン商店街」に足を運び、老舗の店舗を中心に経営者の方々に店の歴史や故郷に対する思いを語っていただきました。多くのお店でお仕事の時間を割いて、私たちのために思いを語っていただきました。生徒たちは普段足を運ぶアーケードの違った一面に触れることができ、この町が受け継いできた歴史と伝統の価値に目を開かされたようでした。2月12日の「地域学報告会」では、各クラスから代表が一班ずつ登壇しインタビュー活動を通して学んだことを報告しました。コンテスト形式で行われたこの報告会では、理数科6組が審査員として発表を聞き、審査を行いました。その結果、5組F班の「山之内時計宝石店」についての発表が学年最優秀賞を獲得しました。

今年度の活動はこれで終わりですが、この取り組みを通じて学んだ地域課題について、2年次では生徒自身が主体的に考える取り組みに発展させていきたいと考えています。



## 主な部活動実績等

### レスリング部

令和元年度第55回全九州高等学校レスリング新人選手権大会

60kg級	第3位	落水 健太
71kg級	第3位	濱崎 湧太
92kg級	第3位	稲本 喬弘
71kg級	第3位	濱崎 湧太
女子 68kg級	第2位	古賀美颯野

### 剣道部

令和元年度九州高等学校選抜剣道大会

女子団体	第3位	
女子団体	優秀選手賞	岩本 瑚々
男子団体	優秀選手賞	齊藤 優太
女子個人戦	優勝	岩本 瑚々